

日本熱測定学会第13回通常総会

日 時 昭和61年10月23日 17時開会

会 場 工技院筑波研究センター共用講堂(第22回熱測定討論会会場)

1. 総会の成立

総会出席者は委任状(289通)を含めて336名, 正会員総数(704名)の1/4を超えるので第13回通常総会は会則第17条により成立した。

2. 議 題

- 1) 昭和61年度事業報告承認の件
- 2) 昭和61年度収支決算承認の件
- 3) 昭和62年度役員の内
- 4) 昭和62年度事業計画決議の件
- 5) 昭和62年度収支予算決議の件

1. 昭和61年度事業報告(60.10.1~61.9.30)

(1) 会員現況 ()内は維持会員口数

	60.10.1	入会者	退会者	61.9.30
正会員	698	51	45	704
維持会員	34(66)	1(1)	2(3)	33(64)

(2) 集会関係

- i) 委員会1回(北大), 幹事会4回(北大1回, 東京3回), 庶務幹事会2回(東京), 編集委員会4回(東京), 応用熱測定研究グループ会合1回(北大), 熱力学データベース作業グループ会合1回(東京)

- ii) 第21回熱測定討論会(60.9.25~27, 北大)
昭和60年度に開催されるも, 年次大会ゆえに今年度の報告事項とする。

発表件数 一般 72件
ミニシンポジウム
「高温熱化学とその
応用」 30件
特別講演 2件 } 計104件

参加者数 160名

- 第22回熱測定討論会運営委員会2回(筑波)
第7回熱物性シンポジウムとの合同委員会3回(筑波および東京)

- iii) 第12回通常総会(60.9.26, 北大)

昭和60年度に開催されるも, 年次総会ゆえに今年度の報告事項とする。

議事録は, 熱測定13巻1号(1986)62頁に掲

載。

- iv) 日中合同熱測定シンポジウム実行委員会3回(東京)
 - v) 第12回熱測定講習会(初心者のための熱分析の基礎と材料への応用)
60.10.16~17, 機械振興会館(東京), 参加者69名
第13回熱測定講習会
61.5.7~8, 大阪府商工会館(大阪), 参加者62名
 - iv) 第1回熱測定ワークショップ
60.10.18, 機械振興会館(東京)「生物系へのカロリメトリーの応用」, 参加者57名
第2回熱測定ワークショップ
61.5.9, 大阪府商工会館(大阪), 参加者55名, 「高分子材料の研究開発のための熱分析—問題点とその解決法の模索—」
 - vii) 講演会Dr. P. L. Privalov(ソ連科学アカデミータンパク質研究所)5.15, 東京, 5.19, 大阪「タンパク質・核酸・生体膜における相転移の研究とバイオテクノロジーへのアプローチ」
- (3) 共催・協賛関係
- i) 共催: 第29回粘土科学討論会(60.10.28~11.1, 岡山)
 - ii) 協賛: 第6回熱物性シンポジウム(60.11.6~8, 仙台)
- (4) 出版関係
- i) 会誌「熱測定」の発行
Vol.12, No.4, 70頁 } 計本文242頁(別に会告40頁),
Vol.13, No.1~3, 172頁 } 各号900部
内容: 巻頭言1, 論文2, 総合論文2, ノート1, 総説3, 解説1, 講座4, 応用熱測定の頁4, その他トピックス, レポート, 書評, 新刊紹介 etc.
特集(1) 高温熱測定のための材料技術(Vol.12, No.4, 35頁)
" (2) DSCによる熱容量測定(Vol.13, No.1, 16頁)
" (3) 熱伝導率・熱拡散率の測定(Vol.13, No.2, 27頁)
 - ii) 「熱測定の進歩」第3巻の発行と第4巻の編集
- (5) グループ活動
- i) 応用熱測定研究グループ(主査: 斎藤安俊)

- ii) BCT (Bulletin of Chemical Thermodynamics) 情報収集作業グループ(主査:菅 宏)
- iii) 熱力学データベース作業グループ(主査:山内 繁)
- (6) 国際協力
 - i) 国際学術団体 (IUPAC, ICTA, CODATA) および各国熱測定学会との協力
 国際協力担当 IUPAC:菅 宏(阪大理)
 IUPAC I・2委員会(熱力学および熱化学委員会)委員
 ICTA :小沢丈夫(電総研)
 ICTA Councilor(評議員)
 CODATA:山内 繁(国立リハビリ研)日本コデータ協会役員

2. 昭和 61 年度収支決算 (60.10.1~61.9.30)

科 目	決算額(円)	予算額(円)
収 入	7,219,946	6,734,000
(I) 会 費 収 入	3,499,000	3,444,000
正 会 員 会 費	2,199,000	2,124,000
維 持 会 員 会 費	1,300,000	1,320,000
(II) 事 業 収 入	3,656,500	3,228,000
会 誌 発 行 収 入	1,249,920	1,180,000
討 論 会 収 入 (要 旨 集)	79,600	45,000
講 習 会 収 入	2,326,980	2,003,000
(III) 雑 収 入	64,446	65,000
支 出	7,364,525	6,715,000
(I) 事 業 費	4,583,390	3,960,000
会 誌 発 行 費	4,389,890	3,755,000
討 論 会 (22回)	50,000	50,000
講 習 会(12,13回)	50,000	50,000
研 究 グ ル ー プ	13,500	25,000
ワ ー ク シ ョ ッ プ (1, 2回)	80,000	80,000
(II) 管 理 費	2,781,135	2,755,000
会 議 費	122,850	125,000
交 通 費	499,100	525,000
事 務 局 費	1,750,000	1,750,000
通 信 費	162,590	165,000
消 耗 品 費	186,940	130,000
雑 費	59,655	60,000
差 引 残 高	△ 144,579	19,000
前 期 繰 越 剰 余 金	2,269,120	
次 期 繰 越 剰 余 金	2,124,541	

現 金	279,628
普 通 預 金	695,748
定 期 預 金	1,000,000
振 替 貯 金	149,165
合 計	2,124,541

熱測定特別基金	917,875
---------	---------

3. 昭和 62 年度役員 (○印:新役員)

- 会 長 近 藤 良 夫 (京大工)
- 委 員 石 切 山 一 彦 (東レリサーチ)
- 稲 葉 章 (阪大理)
- 占 部 美 子 (九大工)
- 榎 敏 明 (分子研)
- 大 塚 優 (グレラン製薬)
- 奥 谷 猛 (北開試)
- 菊 地 昌 枝 (東北大金研)
- 木 下 良 一 (セイコー電子)
- 木 村 隆 良 (近畿大理工)
- 小 泉 喜 弘 (真空理工)
- 小 島 敬 和 (防衛大)
- 金 野 隆 光 (農研センター)
- 塩 坪 聡 子 (阪女学園短大)
- 柴 田 淳 (理学)
- 菅 野 竹 雄 (甲南大理)
- 田 中 春 彦 (広島大学学校教育)
- 土 田 猛 (北大工)
- 寺 田 勝 英 (東邦大薬)
- 仲 町 秀 雄 (武田薬品)
- 中 西 浩 一 郎 (京大工)
- 根 岸 明 (電総研)
- 萩 原 清 市 (東京理工)
- 藤 川 辰 一 郎 (東北大工)
- 馬 越 淳 (農生資源研)
- 増 田 芳 男 (新潟大教)
- 丸 田 道 男 (島津)
- 丸 山 俊 夫 (東工大工材研)
- 溝 田 忠 人 (山口大工)
- 宮 本 欣 生 (阪大産研)
- 山 田 武 範 (帝京大医)
- 山 田 豊 章 (名工試)
- 横 田 力 男 (宇宙研)
- 会計監査 中 西 正 城 (お茶大名誉教授)
- 幹 事 ○市 原 祥 次 (三菱油化) (企画)
- 上 平 初 穂 (織高研) (庶務)
- 小 沢 丈 夫 (電総研) (編集)
- 高 木 定 夫 (近畿大理工) (会計)
- 十 時 稔 (東レリサーチ) (企画)
- 中 村 茂 夫 (神奈川大工) (庶務)
- 八 田 一 郎 (名大工) (会計)
- 協 原 将 孝 (東工大工) (企画)
- 編集委員 (委員長) 小 沢 丈 夫 (電総研)
- 阿 竹 徹 (東工大工材研)
- 市 原 祥 次 (三菱油化)

- 神 本 正 行 (電総研)
- 菅 野 等 (防衛大)
- 寺 田 勝 英 (東邦大薬)
- 畠 山 立 子 (織高研)
- 三 橋 武 文 (無機材研)
(地域編集委員)
- 伊 佐 公 男 (福井大教育)
- 板 垣 乙未生 (東北大選研)
- 草 野 一 仁 (宮崎大工)
- 高 橋 克 忠 (阪府大農)
- 前 園 明 一 (真空理工)
- 横 川 敏 雄 (北大理)

4. 昭和 62 年度事業計画 (61.10.1~62.9.30)

- (1) 集会関係
 - i) 委員会 1 回(筑波), 幹事会 4 回(筑波 1 回, 東京 3 回), 庶務幹事会 3 回(東京), 編集委員会 4 回(東京), 応用熱測定研究グループ会合 1 回(筑波), 熱力学データベース作業グループ 1 回(東京)
 - ii) 第 22 回熱測定討論会(第 7 回熱物性シンポジウムと Joint Meeting, 61.10.22~24, 筑波)
第 23 回熱測定討論会運営委員会 1 回(東京)
第 23 回熱測定討論会は広島大学本部地区で 10 月 12 日(月)~14 日(水)の 3 日間開催の予定(運営委員長は工学部服部信教授)
 - iii) 第 13 回通常総会(61.10.23, 筑波)
 - iv) 日中合同熱測定シンポジウム(61.11.4~7, 中国浙江省杭州市, 浙江大学)
The Sino-Japanese Joint Symposium on Calorimetry and Thermal Analysis
日本側発表件数 口頭 13 件, ポスター 14 件 (中国側もほぼ同数)
" 参加者 28 名, 同伴者 3 名, 計 31 名
 - v) 熱測定講習会(熱分析の基礎と材料への応用)
 - a) 第 14 回講習会(61.12.1~2, 機械振興会館(東京))
 - b) 第 15 回講習会(62.6 月予定, 会場未定)
 - vi) 熱測定ワークショップ
 - a) 第 3 回ワークショップ(61.12.3, 機械振興会館(東京)), 「DTA と DSC の理論と実際」

- b) 第 4 回ワークショップ(62.6 月予定, 会場, テーマ未定)
- (2) 共催, 協賛関係
 - 共催: 第 30 回粘土科学討論会 (61.10.1~4, 東工大)
 - 協賛: 第 7 回熱物性シンポジウム(第 22 回熱測定討論会との Joint Meeting)
- (3) 出版関係
 - 会誌「熱測定」の発行(Vol. 13, No. 4, Vol. 14, No. 1~3)
 - 「熱測定の進歩」第 4 巻の発行と第 5 巻の編集
- (4) グループ活動
 - 前年度に準ず。
- (5) 国際協力
 - 前年度に準ず。

5. 昭和 62 年度収支予算 (61.10.1~62.9.30)

科	目	予算案(円)
収	入	6,865,000
(I) 会	費 収 入	3,460,000
	正 会 員 会 費	2,160,000
	維 持 会 員 会 費	1,300,000
(II) 事	業 収 入	3,355,000
	会 誌 発 行 収 入	1,250,000
	討 論 会 収 入 (22 回)	100,000
	講 習 会 収 入 (14, 15 回)	2,005,000
(III) 雑	収 入	50,000
支	出	6,810,000
(I) 事	業 費	4,010,000
	会 誌 発 行 費	3,805,000
	討 論 会 (23 回)	50,000
	講 習 会 (14, 15 回)	50,000
	研 究 グ ル ー プ	25,000
	ワ ー ク シ ョ ッ プ (3, 4 回)	80,000
(II) 管	理 費	2,800,000
	会 議 費	125,000
	交 通 費	555,000
	事 務 局 費	1,750,000
	通 信 費	150,000
	消 耗 品 費	160,000
	雑 費	60,000
差	引 残 高	55,000